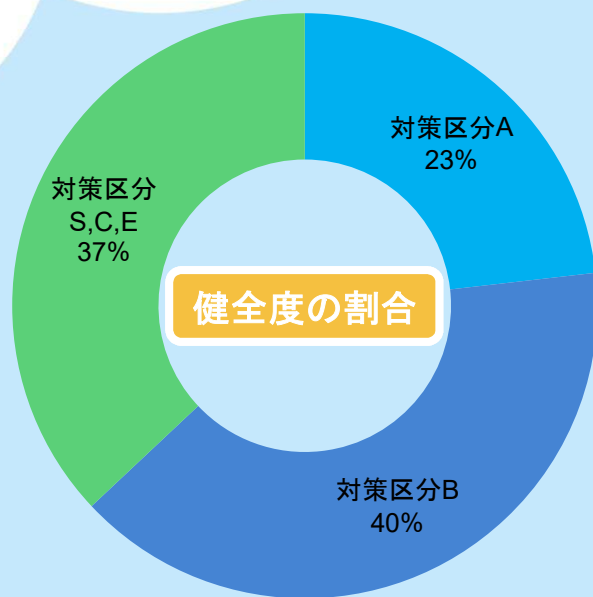


平成30年度 河川巡視結果 (堤防護岸・河道)

河川の状態を把握するために、河川巡視・点検を毎年実施しています。

それにより発見した変状については、状態の程度を損傷度評価するとともに対策区分として判定し、維持管理対策を実施するための指標としています。



【参考】インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み上の健全度区分との対応

健全度区分	健全度評価の内容	河川堤防護岸の対策区分
5	劣化や変状がほとんどなく施設の機能上問題はない。	A
4	軽微な劣化や変状がみられるが、施設の機能低下はなく、経過観察を行う。	B
3	劣化や変状が進行しており、施設の機能低下を起こさないよう対策を行う必要がある。(健全度3の段階で修繕することにより、修繕費を抑えることができる。)	S,C
2	劣化や変状が広範囲に進行し、施設の機能が低下しているため、速やかに対策を行う必要がある。	-
1	劣化や変状が広範囲に進行し、施設の機能が大きく低下しているため、緊急に対策を実施する必要がある。	E

河川巡視結果による健全度評価

水系名	変状箇所数	うち対策区分A	うち対策区分B	うち対策区分S, C, E
芦田川	1,820	287	778	755
羽原川	75	14	48	13
永慶寺川	41	8	31	2
永田川	0	0	0	0
岡ノ下川	0	0	0	0
沖田川	5	0	1	4
可愛川	14	6	8	0
賀茂川	335	117	32	186
栗原川	10	6	4	0
原下川	4	4	0	0
原田川	14	5	6	3
御手洗川	75	12	53	10
江の川	3,792	610	2,193	989
高田川	7	2	5	0
高野川	104	8	18	78
高梁川	1,433	135	746	552
黒瀬川	990	458	183	349
才戸川	20	3	14	3
堺川	21	5	14	2
三津大川	119	8	18	93
山南川	64	6	49	9
蛇道川	61	1	5	55
手城川	56	5	43	8
重井川	4	1	3	0
小原川	8	5	3	0
小鹿野川	0	0	0	0
小瀬川	225	79	125	21
沼田川	1,776	538	319	919
新川	14	5	9	0
瀬野川	101	22	12	67
西野川	3	0	3	0
倉崎川	1	0	1	0
総頭川	1	0	0	1
太田川	1,128	545	258	325
大河原川	1	1	0	0
大正川	12	1	2	9
大谷川	17	3	10	4
大長川	2	0	2	0
大田川	14	7	7	0
田中川	0	0	0	0
藤井川	176	22	69	85
二河川	112	22	42	48
八幡川	3	0	0	3
熱田川	6	2	1	3
尾崎川	0	0	0	0
本郷川	122	18	38	66
本川	9	4	1	4
本谷川	22	1	10	11
木谷郷川	139	22	9	108
野呂川	75	20	19	36
矢野川	0	0	0	0
和久原川	39	15	8	16
総計(対策区分別)	13,070	3,033	5,200	4,837